

一 般 質 問 通 告 書

令和5年5月16日

議 会 議 長 様

議席番号 2 番

議員氏名 上 田 聡

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 地域公共交通の改善・拡充に向けて	令和4年11月7日から12月9日にかけて実施された、「令和4年度町内巡回バス利用者アンケート（以下、『町アンケート』という。）」の集計結果と日本共産党が令和4年12月から令和5年3月にかけて実施した『住民アンケート』の集計結果が出た。アンケート結果を踏まえつつ、令和7年度からの巡回バス運行の改定を見据えて、以下質問をする。 （1）『町アンケート』の結果を見ると、回答者数が37人にとどまっている。その要因をどのように分析しているのか。 また、アンケートの回答者数を増やすためにどのような工夫や取組を行ってきたのか。 （2）『町アンケート』の結果を見ると、土日、特に土曜日の運行を望む声が、37人中23人も寄せられている。年度の途中からでも、せめて土曜日の運行は追加すべきではないか。公民館の利用促進や町主催の各種行事等への参加促進につながる。ひいては高齢者の外出機会増加と健康寿命の増進にもつながると思うが、町の見解は。 （3）『町アンケート』の結果を見ると、泉・東地区から西公民館や高野農村センターにダイレクトにアクセスできないなど、特に東コースと西コース間の乗り継ぎの不便さを訴える回答が目立っている。 町はこの問題をどう解決しようと考えているのか。	町長 副町長 総合政策課長 住民協働課長

5月16日 午前・午後 9時16分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
	(4) 日本共産党が実施した『住民アンケート』の中の、「町政に関して、強く望むことや重視していることは」という質問に対して、「巡回バスなど地域公共交通の改善」と回答した住民は40.1%にものぼり、25項目中の4位という結果だった。参考までに「買い物環境の充実」と回答した住民は46.3%で、25項目中2位だった。これは、「買い物に行くための交通手段が不便」という住民の気持ちの表れと解釈することもできる。 以上のアンケート結果に示された町民の圧倒的な願いに、町はどう応えようとしているのか。町長のビジョンやプランを、総合的かつ具体的に、期限を示しつつ明らかにされたい。 (5) 提案になるが、町内巡回バスは、1コースに戻し、山手線のように外回り(時計回り)に1台ないし2台、内回り(反時計回り)に1台ないし2台を運行させてはどうか。この方法を採用すれば、乗り継ぎが不要になる。1日あたりの便数は、たとえ1台であっても、外回り(5～6便)と内回り(5～6便)を合わせ、今の2倍の10便から12便になる。帰りに遠回りをしなくても済む。 (6) 同時に、巡回バス運行の改定に加え、マイクロバスやワゴン、町内のタクシーなどを活用したデマンド交通を3台ほど試験的に導入してはどうか。巡回バス圏外の住民をカバーできる。ドアツードアで移動できるので、歩行に不安のある方にとっても利用がしやすい。町内企業の振興にもつながる。 地域公共交通政策全般を所管する立場からの回答を求める。	